

# Project

プロジェクト

R2年9月1日号  
放射線タウン情報

2020. 9. 1 発行 No.26  
【編集発行】  
南相馬市健康づくり課  
☎0244-44-2121

東日本大震災および福島第一原発事故の発生以降、福島県では、小中学校の義務教育の中で放射線の基礎を学ぶ授業が行われています。震災・事故から10年近く経過し、当時の状況を経験していない児童生徒が大半を占めるようになってきている中、当時何が起こったかについて伝えていくことはより重要性を増していくと思われます。そして、目に見えない放射線から身を守るための方法を学ぶとともに、感情に左右されることなく科学的に思考・判断し、放射線に対する不安がもたらした風評被害、いじめ問題などの課題を解決するための考えを話し合い、外に向けて発信できる力を養うため、今後も放射線教育は続いていく見込みです。今回取り上げる南相馬市立太田小学校は、今年度、県の放射線防災教育実践協力校として指定を受け、県内の放射線教育をサポートしている「環境再生プラザ」協力の下、1年を通じて放射線について学び、体験し、発信していく予定です。

## 学校で学ぶ放射線のこと

### ① 1、2年生の取り組み：令和2年7月8日(水)実施



1、2年生合同で、先生が紙芝居を通して、東日本大震災で起こったことや福島第一原発の事故により放射性物質が飛散したことなどを説明し、除染の話では、放射性物質を減らす3つの方法「とる」「とじこめる」「とおくにおく」についての話を聞きました。続いて、放射線が人体に与えるキズと治す力についての話や、モニタリングポストなどで放射線の量を知ることは、今後、健康への影響を科学的に考えるために大切であると教わりました。紙芝居が終わった後は映像を使った振り返りクイズが行われ、児童も積極的に手を挙げる活気に溢れた授業となりました。

## ② 5年生の取り組み：令和2年7月29日(水)実施

5年生では、自分たちが育てているミニトマトの放射能を生涯学習センターの簡易分析器で測定してもらい、測定結果が検出限界以下であることを確認しました。安全を確認できたミニトマトについては試食をし、収穫の喜びも体験できました。

### 太田小ミニトマトの検査～試食までの流れ

①育てたミニトマトを収穫する児童



②放射能測定依頼の体験



③測定結果について確認



④安全を確認して試食



午後からは、1学期中に学んだ放射線のことを自分たちでテーマを決めて、発信していくための冊子としてまとめる作業を行うなど、1日を通して、学び・話し合い・発信することについて総合的に取り組んでいました。



### 太田小学校放射線教育担当教諭のお話

自分たちが育てたミニトマトの放射能測定をすることで、安心して食べることができるようになることが分かりました。給食でも笑顔でミニトマトを食べていました。今回学んだことをもとに、放射線防護や防災の上で大切だと思うことを児童自身が考えて発信していきます。